



特別なニーズがある人々に対する 図書館サービス分科会は、

- いろいろなアイデアについて話し合うための国際フォーラムを開きます。
- 図書館サービスを、もっと役に立つよいものにしていくために、経験したことを教え合い、ツールの開発をします。
- 特別なニーズのある人のグループに情報を伝えます。
- 国と世界のすべてのレベルで協力を進めます。

LSNの活動に参加してください！

あなたの経験と関心が必要です！毎年8月に開かれる国際図書館連盟（IFLA）世界図書館情報会議のセッション、ワークショップ、ミーティングに、ぜひ参加してください。この会議が開かれていないときにも、計画を立てたり、話し合いをしたりするための中間会議があります。

Facebookに参加してください！

<https://www.facebook.com/iflalsn/>

LSNのFacebookページは、LSNのトピックに関心のある世界中の人とつながっています。

特別なニーズがある人々に対する 図書館サービス分科会（LSN）

<https://www.ifla.org/lsn>

LSNが進めていること：

- みんなが等しく利用できる図書館サービス
- ユニバーサルデザイン
- ガイドラインとうまくいった方法
- みんなが参加できるようにするための取り組み（インクルージョン）



世界で使われているピクトグラム（左上から右へ順に）アクセシビリティ、精神障害、読みやすさ、視覚障害、ろうおよび難聴、手話

特に助けたい人

LSNは、生活や周囲の状況に問題があるために、今ある図書館サービスを利用できない人を、特に助けたいと考えています。



世界で使われている、病院、刑務所、ホームレスを表すピクトグラム

LSNが特に助けたい人には、次の人も含まれます。ただし、これらの人だけではありません。

- 入院している人
- 刑務所に入っている人
- 老人ホームに入っている人
- ケア施設に入っている人
- 身体障害のある人
- ろう、難聴、または盲ろうの人
- ディスレクシアの人
- 認知症の人
- 精神障害や認知障害のある人
- ホームレスの人

LSNが作成したガイドライン

<https://www.ifla.org/publications/50>

最新のガイドライン：

- ホームレスの人への図書館サービスのガイドライン
- ディスレクシアの人のための図書館サービスのガイドライン改訂・増補版
- ろう、難聴、または盲ろうの人への図書館サービスガイドライン（作成中）



ほかにも、次のようなガイドラインがあります。

- 刑務所に入っている人への図書館サービス
- 認知症の人への図書館サービス
- 読みやすい資料
- 入院している人、長期ケア施設に入っているお年寄りと障害のある人への図書館サービス
- アクセシビリティ・チェックリスト

上の3つの絵は、「ディスレクシア？図書館へようこそ！ディスレクシアの人のための図書館サービスに役立つヒント」というチェックリストで使われている絵です。